

## まちづくり懇談会議事録【公開用】

日 時：令和元年10月20日（日）18時25分～20時00分

場 所：共和公民館

出席者：9人

1. 開会
2. 町長挨拶  
※配布資料確認および日程説明
3. 今年度のまちの動き（資料①）  
※質疑応答
4. これからのまちづくり（資料②）
5. 懇談
6. その他  
(1) 出前型政策・施策説明会「栗山町のまちづくり」について（資料③）  
※質疑応答
7. 閉会

《質疑応答》

【栗山赤十字病院について】

町長：

日赤病院の問題が、まちづくりの核となる問題だと思っている。近隣と連携して進めていくことが一番良いと思っており、他町に打診したことがあるが、それぞれの町でも病院の維持を考えているのでなかなか難しい。夕張市・由仁町はダウンサイジングをし、南幌町・長沼町は札幌圏との連携を進めている。1市4町で1つの拠点化をしていくのは厳しい印象がある。日赤病院は建物の老朽化があり、早急に進めなければならず、他町となかなか足並みが揃わない中で、なるべく早く方向付けしないといけない。実際に方向付けをしてから病院が完成するまでには、診療科をどうするか、医療水準・サービス面など議論を重ねなければならず、中身を詰めていくのに時間がかかる。それまで建物を維持できるのかという問題もある。

町民：

病院再編についての報道では、長沼町立病院が入っていなかった。長沼町は経営が安定しているのか。

福祉総括：

2015年7月時点で急性期をもっている病院を対象としており、長沼町は急性期病院ではないため、調査対象から外れていることが原因との報告であった。今月末に今回の公表に関する説明会が開かれるため、そこでの内容を情報開示できればと思っている。

町長：

日赤病院は、長沼町よりも経営は良いと思う。累積赤字は日赤病院の方が多いが、単年度の経営状態をみると、透析など採算部門があることも影響して、日赤病院の方が状況は良い。

【北海道介護福祉学校について】

町長：

介護福祉学校の維持について、国に話をしたところ、なぜそのような思いをして学校を存続させているのか、栗山町に残る卒業生は1割程度で、栗山町の北海道に対する貢献度は評価できるが、どうなのかと言われる。道全体で介護士が不足しているため、広域問題として扱ってほしいが、なかなかうまくいかない状況。

【人口減少・移住定住・小学校の統廃合に関して】

町民：

2040年、栗山町の人口が3,000人から4,000人になると聞いた。町として、どのくらいの人口になると推計しているのか。

まちづくり総括：

平成27年に地方創生の取り組みがあり、国の推計では、栗山町は何もしなければ2060年に人口5,000人を切ると言われている。

町民：

商店街の問題や学校の問題、病院の問題など、町が抱える問題は全て人口減少が原因だと思う。人口を増やす、子どもを増やすことが大切になってくるのではないかな。

町長

新規就農支援を通じた移住定住、地域おこし協力隊の起業など、若者の定住は、他町よりも多いと思う。これからも積極的に栗山町に人が集まるような取り組みをしていかなければならない。雇用の場がないと移住できないため、企業誘致も積極的に行っていく。さまざまな取り組みを行っても、人口は減少していくが、減少のスピードを抑える対策を打っていきたい。また、人口減少に対応できる策も必要。今年4月から9月の人口減少が鈍化し、他町と比較して良い状況。1年間を通してみないといけないが、これまでの取り組みの効果が少しずつ現れているのではないかと考えている。

町民

近隣町では小学校統合の動きがあるが、栗山町も今後あるのか。

教育長

現在町内に小学校は3校あるが、一番児童数が減っているのは、栗山小学校。角田、継立小学校は全校児童50人から60人で横ばい。小規模学校の良い面は、小さい頃から同じ仲間と過ごすこと、地域と密着した活動が行えること、教師1人あたりの児童数が

少なくさまざまな取り組みができること。しかし、体育でドッジボールの試合ができないなど、集団行動の中での活動ができないデメリットもある。現在、年間で数回、角田小学校と継立小学校合同で体育を行うなど、いろいろな活動を合同で行うことで集団行動を補っている状況。引き続き、合同活動により可能な限りは現在の3校を存続していきたいが、今後、急激に子どもの数が減るようなことがあれば、統合も考えなければならない。

町長：

現在、ボールパーク構想でのビジネスチャンスもある。ボールパークの従業員に町に住んでもらうなど、新たな動きにすぐに対応できるような準備をしていく必要がある。数多くの雇用が生まれ、来場者も見込まれる。さまざまなチャンスを見出しながら進めていきたい。

#### 【シカの対策に関して】

町民：

札幌市の街中でシカが出たというニュースがある。富士にもシカを目撃情報がある。山のほうは柵をつければ良いと思うが、町なかでは銃が使えない。罠をかけるしかないと思うが、なかなかかからない。農業被害は微々たるものだが、危険であるため、町中でのシカの駆除方法を考えてほしい。

産業総括：

昔、日赤病院付近で雄シカが出て、役場・消防で対応。そのときは捕獲を試みたが、できず、御大師山に追い払った。町中では銃で撃つことができず、網での捕獲も難しいため、山に追い払うしかないと思っている。川向うから来るということもあり、近隣町と情報共有しながら進めている状況。

町民：

現在、富士に出ているから、市街地に出たから対応するのでは遅い。早急の対応をお願いしたい。

産業総括：

罠をしかけるにしても、ピンポイントで通らなければかからないし、現実的には難しい。富士だけではなく、阿野呂のほうでも目撃情報がある。鉄砲の使用にはさまざまな制度があり、民家の近くでは使えないので、ご理解願いたい。

町民：

麻酔銃は使えないのか。

産業総括：

難しい。札幌市のケースは、相当接近してから麻酔銃を撃ったのではないのか。

【角田地域に関して】

町民：

曙団地の建て替えが多いが、住民が買い物できる場所が近くにない。たくさん人を集めておいて、買い物ができない状況はまずいのではないか。

町長：

角田や工業団地から、コンビニエンスストアや商店を誘致してほしいという声がある。担当の話だと、コンビニエンスストア単体で設置するのは戦略上難しいとのこと。周囲に2,000戸程度あれば1軒建てられるらしいが、公営住宅を含めてもそこまでの戸数がない。しかし、角田の国道沿線は土地もあり、交通量も多いので、誘致につなげていきたい。また、町営バスのハブターミナルなどを作って、そこに合わせてコンビニエンスストアを設置する提案など、策を練って進めていきたい。商店がなくなり、町中まで来なければならない状況で、住民の方が困っているということは承知している。

産業総括：

角田よりもっと田舎でぽつんとセイコーマートがあつたりするところは、直営店ではなく、地域でもともと営業していた商店がセイコーマートになっている。直営店はなかなか難しいが、そういう方法もある。

町長：

栗山町よりもっと田舎な地域では、商店がないため、町や村が店を作り、土地を無償提供してコンビニエンスストアを誘致している。栗山町がコンビニエンスストアに話をもっていっても、他町でそういったコンビニエンスストア参入を積極的に進める取り組みがあるため、栗山町は何かそういう支援はないのかと言われてしまう。

町民：

町では、そういった支援をする予定はないのか。

町長：

予定はない。

町民：

クリエイターズマーケットの中に役場の事務所を移転し、ふるさと納税の業務をオフィスくりおこに委託するなど、町が業務を委託して、ある程度の経営を安定させてあげているようなところがある。角田についてもそういったことをしても良いのではないかと思う。

町長：

課題でもあり、検討していきたい。

町民：

角田についても何か考えていかないと、せっかく若い人がいるのに出て行ってしまおうと思う。

町民：

お昼のお弁当を買うところもなく、近隣にはローソンしかないため、すごく混雑している。

【栗山町役場の採用状況に関して】

町民：

大学生の息子がいるが、その同級生から、近隣4町は町職員の採用があまりないと聞いた。どのような状況か。

町長：

そのようなことはない。現在、町職員は145人程度いて、毎年退職者が出るため、その退職者を補充するため採用している。今年は8人退職予定であり、同程度の採用を考えている。社会人採用もあるが、社会人採用と新卒採用をバランスよく行っていないと20代から30代の役場職員を確保できないため、バランスを見て採用している。

町民

栗山高校からは何人くらい来ているのか。

総務課長

栗山高校からは残念ながら来ていない。

町民

栗山高校卒を作ったらどうか。毎年卒業生が必ず役場に入れるとしたら高校の生徒も増えるのではないか。

町長

1次の筆記試験の後、栗山町を志望する人が2次面接に進んでくる。残念ながら、栗山高校の卒業生では該当者がいなかった。